

報道関係各位

【いわて地誌アーカイブ】プロジェクト

『岩泉・海と小本～東日本大震災を経て、ふるさとを見る・知る・探るビジュアル史料～』の刊行について
本学総合政策学部では、地域社会の恒久的な記録を次代へ引き継ぐ【いわて地誌アーカイブ】プロジェクトの取組として、11月1日に標記写真史料集を刊行することとなりましたのでお知らせします。

記

■ 写真史料集の概要

【特徴】

- 1 復興現場、あるがままの日常、地域資源を可視化した画像 309 点[リサーチ・撮影/平成 25～26 年]
- 2 20m もの津波が水門に衝突する瞬間、大正・昭和の集落や漁村ほか歴史的画像を 100 点超、採録
- 3 自然科学や社会科学の見地から、第一線の研究者・大学教員が解説やオピニオンを寄稿[全 21 編]
- 4 ジオツーリズム・被災地ツアーに関する地域情報の発信、多様な観点に及ぶ郷土学ニーズへも対応

【主な掲載内容】

- ・「三陸ジオパーク」で注目される地球史的な地質景観、海岸美
- ・明治～昭和の津波被災史、東日本大震災からの復興プロセス
- ・ありし日の情景——2010 年 7 月 8 日の小本漁港、小本川河口
- ・誇らしき民俗芸能「中野七頭舞(なかのななずまい)」の継承者
- ・小本須賀・須久洞漁港・茂師海岸——臨海エリアの変容、今昔
- ・トンネルを抜け、潮風を受けて。復活した三陸鉄道「北リアス線」
- ・酪農の地あり、漁村あり。大牛内・中野・小本・茂師・小成を往く
- ・仮設の学び舎ルポ——小本保育園・小本小学校・小本中学校



■ プロジェクト推進、編著

岩手県立大学総合政策学部 [プロジェクト代表 豊島正幸 総合政策学部長]

■ 連携パートナー：岩泉町、小本地域振興協議会

■ 仕様等

B5 判 212 ページ／オールカラー、定価 3,800 円(税抜)、発行：イーピックス(大船渡印刷出版部)

※岩手県内や首都圏の書店・大学生協、書籍のインターネット通販サイトなどで販売

※岩泉の絆・特別価格[税込 1,400 円]で販売中(岩泉町小本支所限定販売)

※ダウンロード仕様もあり：電子書籍[EPUB3 対応]、定価 2,000 円(税抜)

《いわて地誌アーカイブプロジェクトとは》

産・学・官・民が連携し、これまでの地域の「歩み」を物語る写真、地域の「今」を織り成す自然・社会の姿を伝える写真を活かし、多様で専門的な視点から解説を綴る「写真史料集」の刊行等を目指す取組。

<本件に関するお問い合わせ先> 岩手県立大学総合政策学部教授 豊島正幸 TEL019-694-2700